

## 審議会等会議録

発 言 者	会議のてん末・概要
1 開会	
司会(榎本課長)	<p>みなさま、こんにちは。定刻となりましたので、平成30年度第2回久喜市自治基本条例推進委員会を始めさせていただきます。</p> <p>本日の出席者は、所用により、鈴木委員、新井委員、坂庭委員、佐世委員が欠席とのご連絡をいただいておりますことから、12名中8名の出席でございます。</p> <p>自治基本条例推進委員会条例第7条第2項に規定する定足数（過半数）を超えておりますので、委員会が成立しておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>また、本日の傍聴者はおりませんので、ご報告をさせていただきます。</p> <p>なお、会議に入ります前に配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>本日の資料につきましては、事前に郵送をいたしまして、本日ご持参いただくようお願いしたところでございますが、お持ちいただいておりますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">＜確認＞</p> <p>また、本日配付させていただく参考資料として、資料2「子どもリーフレット（案）「わたしたちのまち 久喜～みんなではじめるまちづくり～」を配付させていただきます。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、確認をさせていただきます。</p> <p>はじめに、次第、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 資料1-1 協働のまちづくり（広報掲載）</li> <li>(2) 資料1-2 協働のまちづくり（特集記事案）</li> <li>(3) 資料2 子どもリーフレット（案）について</li> <li>(4) 資料2「 子どもリーフレット（案）「わたしたちのまち久喜～みんなではじめるまちづくり～」</li> <li>(5) 資料3 協働のまちづくり講演会の実施について</li> <li>(6) 資料4-1 市民参加推進員について</li> <li>(7) 資料4-2 市民参加推進員の愛称・キャッチフレーズ</li> <li>(8) 資料4-3 市民参加推進員の募集チラシ</li> <li>(9) 資料5-1 報告書の作成について</li> <li>(10) 資料5-2 報告書（案）</li> <li>(11) 参考資料1 平成30年度第1回久喜市自治基本条例推進委員会会議概要（会議録）</li> </ul> <p>以上でございます。</p> <p>資料に不足はございませんでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">＜確認＞</p>
2 あいさつ	
司会(榎本課長)	<p>よろしいでしょうか。それでは、次第の2に移らせていただきます。小林会長から、ごあいさつをお願いいたします。</p>
小林会長	<p>おはようございます。今日はいろいろと内容があるので、迅速な進行に努めたいと思います。協力の程お願いいたします。</p>

3 議題	
(1) 協働のまちづくりの推進について	
司会 (榎本課長)	<p>それでは、次第の3「議題」に移らせていただきたいと思います。ここで、前回の委員会から本委員会開催までの間に、本市の地域コミュニティに関する施策について方針の転換がありましたのでご報告させていただきます。</p>
事務局 (村田係長)	<p>事務局から、久喜市の地域コミュニティ施策の一つ、地域会議の今後の方向性について、方針の転換がありましたのでご報告させていただきたいと思います。</p> <p>配布資料はございません。</p> <p>地域会議は、共助社会を築き上げ、元気で魅力ある久喜市を実現するため、平成27年7月に、久喜、菖蒲、栗橋、鷲宮の4つの地区に設置した会議です。</p> <p>それぞれの地域に精通した各分野のみなさまが委員となり、地域の特色を生かした取り組みや地域の課題解決のための取り組みについて、検討及び協議等を重ね、4地区でそれぞれ事業を実施しているところです。</p> <p>昨年度の実績を申し上げますと、  久喜地区では「総合運動公園 花いっぱい運動事業」を、  菖蒲地区では「あやめ、ラベンダー関係施設等整備事業」を、  栗橋地区では「栗橋宿まちあるき観光活性化事業」を、  鷲宮地区では「コスモスふれあいロード推進事業」を実施いたしました。</p> <p>これらの事業を通じ、世代間交流が深まるとともに、地域の活性化につながるなど、一定の成果を挙げることができたと認識しております。</p> <p>しかしながら、一方では、委員のみなさまから、「市でやるべきことと地域会議で実施すべきことが整理されていないものがある」、「目に見える事業となっていないケースがある」など、これまでの事業運営に関して、様々なご意見をいただいております。</p> <p>このような現状を踏まえ、今後の地域会議について検討した結果、現行のままでは、本来の目的である「共助社会づくり」の実現は難しいとの判断に至り、平成31年度以降の地域会議を廃止する、という結論となりました。</p> <p>しかしながら、少子高齢化の進行、世帯構造の変化、地域住民の価値観の多様化などに伴い、地域コミュニティの希薄化が懸念される昨今、地域の人と人のつながり、支え合いは、ますます重要であると市も認識しております。</p> <p>このため、地域住民が、共助社会を形成し、久喜市をもっとよくするためのまちづくりができるよう、来年度以降に地域自ら企画・立案、実施する、地域提案型の事業に対して、市は新たに財政的支援を行いたいと考えております。</p> <p>その事業の選定につきましては、地域活動をされている市民のみなさまで構成する組織を新たに設置し、その中でご検討いただきたいと思いますと考えており、現在、この新たな制度について検討しているところでございます。詳細が決定した後、改めてみなさまにご報告させていただきたいと思いますので、よろしくご報告させていただきます。</p> <p>今後の地域会議についての説明は以上です。</p>
司会 (榎本課長)	<p>ただいま、地域コミュニティに関するご報告をさせていただきました。説明もありましたとおり、今後の新たな制度について検討が決まりましたらこちらの方からご報告をさせていただければと思っておりますので、よろしくご報告をいただきたいと思います。</p> <p>それでは、次第の3の議題に移らせていただきたいと思います。</p> <p>議事の進行につきましては、久喜市自治基本条例推進委員会条例第7条</p>

小林会長	<p>第1項の規定により、小林会長に議長をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、暫くの間、議長を務めさせていただきます。</p> <p>議事が円滑に進行いたしますよう、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、議題に入ります前に、会議録の作成について本日の会議録の署名をお願いする委員を確認したいと思います。今回は、石井委員と車田委員をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、議題（1）自治基本条例の普及についての資料1-1「協働のまちづくり（広報掲載）」、（2）資料1-2「協働のまちづくり（特集記事）」について、事務局説明をお願いします。</p>
事務局（須永主事）	<p>&lt;資料1-1、1-2に基づき、「協働のまちづくり（広報掲載）」についての説明&gt;</p>
小林会長	<p>はい、ありがとうございました。今、説明がございましたけれども、何か各委員のみなさまのご意見等ございますでしょうか。</p>
前田委員	<p>事務局、ご苦労様です。この資料を拝見しまして、かなり具体的に組みが進んでいるというように感じます。ついては、1点お伺いしたいのは、前回までに検討されたリーフレットについては、それぞれの意見交換会、役員会等でリーフレットを配布済みということではありますが、その配布をした、その時のそれぞれの役員の反応についておたずねします。</p>
事務局（榎本課長）	<p>久喜コミュニティ推進協議会の意見交換会につきましては、コミ協の方で主催となっております。校長先生等といった方たち、学校と地域で取り組みをしていくという中で、意見交換会を開催したのですが、その席で意見交換を始める前に、協働のまちづくりとはどういうものなのかということで、市の自治基本条例が根幹になっていて、車の両輪のようにして、市民参加条例と市民活動推進条例があると。そういった理念だけではなく、自治基本条例の理念的な条例だけでなく、具体的な車の両輪になる条例があるという趣旨の説明をさせていただいて、リーフレットを配りながら説明だけで終わってしまっているの、そこに対して何か直接的なご質問があったとかご意見等があったというのはなかったというような状況でございます。</p>
小林会長	<p>それから、鷲宮コミュニティ推進協議会と栗橋について、こちらの方で役員会でも資料をお配りして説明をしてということで、みなさま納得はされているという感覚ではありますが、それに対してすぐに質問があるかという、なかなかないという状況にございました。</p> <p>他にいかがでしょうか。特に見ていただきたいのが、広報の掲載の日程、内容に書いてあるテーマというのがこのようによろしいでしょうかということについて議論をいただきたい。</p> <p>あと、特集記事について、この原案でいいのかどうか、そういうことについても、もし何かあれば。この原案でよければ、これでいいということで、構わないと思います。無理やり変えるという意味はありませんので。抽象的にただ意見を言えというのは大変でしょうから。</p>
車田委員 事務局（村田係長）	<p>いかがでしょうか。</p> <p>これは1色刷りのまま出るのですか。</p> <p>広報紙について、普段は2色刷りということで展開していると思います。これはあくまでも下地というか、私達で作ったものになりまして、広報の担当の方が、もう少し見栄えよく、見やすいようなレイアウトに修正してくれると思います。</p>
小林会長	<p>他にはいかがでしょうか。基本的にはこれでよろしいでしょうか。</p> <p>&lt;確認&gt;「はい」の声あり</p> <p>それでは、広報掲載の件、特集記事も含めて、基本的にこれで進めてい</p>

	<p>ただくということだと思います。</p> <p>続きまして、議題の（１）自治基本条例の普及についての資料２「子どもリーフレット（案）について」、事務局説明をお願いします。</p>
事務局（須永主事）	<資料２、２´に基づき、子どもリーフレットについての説明>
小林会長	今、最後にあった、追加、省略事項、あるいは気が付いたことがあれば、お出しただければと思います。ここで、「これ要らない」とは言いにくいですね。
事務局（村田係長）	どんどん言っていただいで結構です。よろしくお願いします。
小林会長	いかがでしょうか。みなさまが質問をお考えいただいている間、私が先に質問いたしますが、これは、子どもの場合、何歳くらい、学年でいうと何年くらいを一番メインに考えているのでしょうか。
事務局（村田係長）	市民参加推進員に登録できる年齢というのが１３歳以上ということなので、その前ということで、５、６年生を考えています。
車田委員	これは予定としては毎年繰り返すのですか。
事務局（村田係長）	そうですね、学年が上がれば入れ替えもありますので、できれば毎年やっていきたいと思っております。
大豆生田副会長	配布が７月頃とありますが、配るタイミングというのは、どういう形で、ポンポンと学校を通して子どもたちに配ってしまうのか、あるいは、配った時に、何かリアクションを求める、例えば５ページには、「どれに参加しようか」とありますけれども、こういう、子どもたちに促すような、こちらから与えるもの、例えば、市民参加推進員のような、あれはまだ申し込みしなさとは言えないが、しかし何かそういうものがあつたらいいかなと思っているんですけども。
車田委員	要するに、勝手に配るのではなくて、子どもたちに反応を聞けるようなことは何か考えていませんか。
事務局（榎本課長）	まったく同じ意見です。配った時、授業とはいかないまでも、何か学校側から説明ができればより効果は上がるのかなとは思んですけども。５分でも、１０分でも、時間を割いてもらって。
	その点について、よろしいでしょうか。ひとつは、副会長がおっしゃられたとおり、また前回の委員会でも委員さんの方から、教育委員会と調整をして、具体的にどう働いていくか、その辺密にしていって方がいというご意見をいただいたと思います。それを踏まえまして、教育委員会の指導課と、学校への配布物関係を管轄しているので、調整をさせていただきました。その結果、このリーフレットについては、今回出来上がって、来年度の予算の成立後、印刷製本ができた場合には、５・６年生を対象にリーフレットを配るということについて全面的にご協力をいただけるということで大丈夫でした。その際に、ちょうど今、おっしゃられたように、何か若い世代の市民参加に対するご意見をいただいたりとか、リーフレットが固まっていなければこういったところに、私たちの目線でいくとこういう記事があると見やすいんですよとか、ご意見をいただく機会があるそうなんです。中学生等が集まるようなイベントとかを捉えて、自治振興課の方で協働のまちづくりについてご意見が欲しいということであれば、協力できますよという声もいただいているので、そういうイベントといったものを視野にいれながら今後も調整は続けていきたいと思っております。
	もうひとつ、先ほど、このリーフレットを毎年配るんですかという話があつたと思うのですが、この配り方もいろいろ工夫があると思います。一番最初は、ちょうど来年合併１０周年を迎えることもあり、記念冊子としてきれいな子どもリーフレットという形の、カラー印刷の予算取りをとっているんですけども、正直なかなか毎年毎年これで予算がとれるかどうかということもまだわからないところではありますので、そういった働きかけの手法を毎年新しいイベントで配ってみてみんなに意見を聞いてみる

<p>前田委員</p>	<p>とか、そういったいろんな手法を交えながら、いろんな方法を試しながら、若い人の意見というものを吸収しながら市民参加の方に繋げていけばと考えていますので、引き続き検討させていただければと思っています。</p> <p>今のお話はまさにコアな部分で、予算要求のとの関係ですよ、ひとつは。もうひとつは、教育委員会との関係。これが実は、中身をどう表現するかというのとは別で、おそらく今後継続して子どもに周知を図っていく上で大前提になるであろうと考えています。</p> <p>予算の関係については、財政課の立場からすると、後年度負担になっていくわけですよ。毎年度予算を伴うということでありまして、そのことについて財政課がどう受け止めるかということだと思います。庁内での折衝が必要になるかだと思います。</p> <p>教育委員会との関係については、教育委員会を抜きにして各学校に働きかけをするということにはならない。これは当たり前のことで、教育委員会指導課とよく相談しながら、丁寧に新しい芽差しをしていくということかなと思います。</p> <p>内容については、この構成は、かなり事務局は苦勞した跡が伺われます。いきなり条例とはというのではなく、私たちのまち久喜を改めて説明をしていく。久喜の特徴を、交通の利便性等を強調している。この構成は非常に効果的であり、練った上での構成になっているというふうに考えます。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>申し訳ないですけど、3ページのトーンっていうのはすごくいいんですよ。要するに、子どもさんにこういうことですねという感じの表現、これを4ページ5ページにも展開していただくといいかなと。それこそ子どもさん向けのパンフレットになるのではないかなという気がします。</p> <p>もうひとつは、教育委員会にも原案のコメントは求めているのでしょうか。先生経験者の方の意見はすごく参考になると思うので、作成にあたって連携をとっていただいているのであれば、引き続きとっていただければお願いをしたいと思います。</p>
<p>事務局（村田係長）</p>	<p>ありがとうございます。2、3ページ以降のトーンについては検討させていただければと思います。また、教育委員会の先生のご意見については、こういうものかというのを見ていただいているが、具体的にご意見はまだ伺っていませんので、その辺りも参考にしながら進めていきたいと思っています。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>具体的に言うと、「聞いてはいるけど」といい加減に対応する可能性がある。取り込むということがひとつポイントかなと思います。</p>
<p>事務局（村田係長） 平井委員</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>前回見せていただいたリーフレットがカラーになると、こんなに違うのかなと。とても楽しい表紙で、内容も子ども目線で書かれており、見やすいし、小学5年生、6年生だけでなく、中学生や高校生にも、また私たち大人もぜひ読んでみたいと思えるような出来ばえで嬉しく思いました。よく出来ていると思います。</p>
<p>益山委員</p>	<p>先ほどから話に出ておりましたが、このリーフレットは市民参加推進員になっていただくためだけではなく、久喜市の協働のまちづくりに、子どもの時からみんなでまちづくりに参加しましょうという関心を持っていただけなら素晴らしいと思います。</p>
<p>小林会長</p>	<p>私も同じようなことをなんですけども、手に取っただけで、子どもさん向けということがまず表紙を見てわかるということと、パラパラと開いただけでこれは写真とかで内容が予測できるような、すごくわかりやすくとてもいいなと思いました。やはり先ほどおっしゃられたように、本当に子どもさんだけでなく、大人が見ても、興味がない人がぱっと見た時でもわかりやすくいいと思いました。</p> <p>いろいろなご意見、要望も出ましたので、事務局でそれを少し勘案し</p>

前田委員	<p>て、対応していただければと思います。</p> <p>タイトルが、「わたしたちのまち 久喜 ～みんなではじめるまちづくり～」になっていますが、「はじめるまちづくり」なのか、「すすめるまちづくり」なのか。ちょっと考え方がわからないのですが。あまりこだわることでもないですか。</p>
加藤委員	<p>これからスタートするという表現は、「うーん」という気がするのですが、すでに始めているので、さらに展開、進めていく、という表現がいいのかなと私は思います。</p>
前田委員	<p>普通に考えるとそうですね。それでそれを敢えて「はじめる」という言い方をするかどうかというだけのことだと思います。表現の問題です。</p>
小林会長 事務局（榎本課長）	<p>いかがでしょうか。そのあたりも検討の材料にしてください。</p> <p>まだ来年の印刷に向けてなので、ご意見があれば、ここの会議の場でもなくても、事務局の方にご連絡をいただければと思っております。先ほどおっしゃられていた先生のご意見も入れた方がいいということもあるので、教育委員会の方に働きかけたいと思います。今回、教育委員会に、こちらからリーフレットの話を持ち掛けた時も、先方の方から、例えば中学生のサミットがあって、協働のまちづくりをお題として挙げれば、中学生の意見も取り入れることもできますよというお話をいただきました。今の協力体制のまま引き続き働きかけていき、協力関係のままリーフレットの方も作成していければと思っております。</p>
小林会長	<p>現場とのキャッチボールは大変だとは思いますが、よろしく願います。</p> <p>続きまして、議題（１）自治基本条例の普及についての資料３「協働のまちづくり講演会の実施について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局（須永主事）	<p>&lt;資料３に基づき、協働のまちづくり講演会についての説明&gt;</p>
小林会長	<p>ありがとうございました。まだこれは、具体的にはこれから詰めていくということで、よろしいのですよね。各委員さんからの意見もそれぞれ色々あると思いますので、簡単に出していただければいいかと思います。まだ固まっていないので、具体的には出ないので、これについてどうのこうのというのはまだなかなか言いにくいかもしれませんが、何かございますか。意見というよりは質問かもしれませんが。</p>
大豆生田副会長	<p>前回もちょっと話したかもしれませんが、講演会の目的のひとつに、市民参加推進員の参加を促すような、市民が入ってきてくれるような中身の効果も期待したいので、それも含めてご検討いただきたいと思います。</p>
小林会長	<p>よく講演会なんかをやると、あるテーマがあって、会場で各位に配られるパンフレットの中に申込書が入っていて、帰りに無理やり入れさせられたりとか。よく、その時には頭の中に「よし、やるぞ。」という気持ちになっていても、家に帰るころには熱が冷めてしまう。家に帰ると申込書は書かなくなってしまうので。あと、説明も、そうですね。そういうところに触れていただくようなことをお願いできれば、やり方はいろいろあるのかもしれませんがね。それがストレートになってしまうと逆に嫌がられてしまう。動員するために集めたのか、と思われてしまうので。そこがバランスの問題かもしれない。</p> <p>いかがでしょうか。何か事務局では、これはどういうふうにするとか、決定事項ではなくてもあるのでしょうか。</p>
事務局（榎本課長）	<p>今、検討中ではあるのですが、今、ご意見いただいたとおり、市民参加推進員を巻き込んでいたり、結局、いつものメンバーで集まって講演会をやっても、そこで終わってしまうのはどうなのかということがあり、もう少し広く、市民が参加できるスタイルにした方がいいのかとか、そうすると講演会にしても、テーマにしても「協働のまちづくり」というなんでもある意味広い範囲でくくれるので、みなさまが関心のある分野にしてみ</p>

	<p>たり、いろんなことが想定されるかなと思います。今、そういったところを検討しておりまして、より人が集まって、市民参加しやすくなる環境が整えられるような講演会ができればいいかなということで、抽象的な書き方で申し訳なかったのですが、講演会の手法から、あるいは規模、協働のまちづくりを進める他の団体も含めて、巻き込む形での講演会を企画してみたいと思っております、できれば年内中くらいには、市の考え方を固めていきまして、次回には、具体的などころもみなさまにご説明ができればというふうに考えております。</p>
小林会長	<p>そうですね、次回があるのですよね。そこで出していただいて、でよろしいですか。</p>
前田委員	<p>他の団体と共催というのは、わかり易いのですが、実際問題、一緒にやるまで時間と検討が当然必要になりますよね。相手の都合もありますよね。これは、手段としては、隣接の自治体とやるというのはメリットはあるのでしょうか。事務局の考えがあれば聞かせてください。</p>
事務局（村田係長）	<p>他の団体と書かせていただいたが、他の自治体ではなく、まちづくりを進める団体、例えばコミュニティ協議会等を想定して書かせていただきました。</p>
前田委員 小林会長	<p>了解です。 いかがでしょうか。では、次回、次第に載ってくると思いますので、もう少し具体的になったものを。いろいろ検討事項があると思いますので、そういうことでよろしく願いいたします。 続きまして、議題（１）自治基本条例の普及についての資料４－１「市民参加推進員について」、資料４－２「市民参加推進員の愛称・キャッチフレーズ」、資料４－３「市民参加推進員の募集チラシ」について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局（須永主事）	<p>&lt;資料４－１、４－２、４－３に基づき、市民参加推進員、市民参加推進員の愛称・キャッチフレーズ、市民参加推進員の募集チラシについての説明&gt;  &lt;愛称・キャッチフレーズについて、会議前に提出された記入用紙の集計結果の報告&gt; 愛称につきましては、番号１「協働のまちづくりサポーター」が５票、番号３「まちづくりサポーター」が６票、番号４「まちづくりパートナー」が４票、番号５「まちづくり協力隊」が１票です。愛称につきましては以上です。 続きまして、キャッチフレーズにつきましては、番号１「市民が主役！久喜市を創るのはあなたです！」が１票、番号３「みんなでつくろう！未来の久喜市」が７票、また、委員からの提案が１票ありまして、「あなたと私でつくろう あした（未来）の久喜市」でございます。以上でございます。この結果を参考に、ご検討のほどよろしくお願いいたします。</p>
小林会長	<p>ありがとうございました。愛称とキャッチフレーズが一番ポイントとなってきますかね。どのように決めましょうか。単純に数というわけにもいけないので、みなさまで議論をしていただければと思います。 まずは順番で、愛称の方を先に検討しますか。いかがでしょうか。分析するわけではないですが、１番の「協働のまちづくりサポーター」が５票あって、３番の「まちづくりサポーター」というのが６票、「サポーター」という言葉を使っているのが１０票以上あるわけですね。「パートナー」というのが４票で、「協力隊」というのが１票。ということで、全体的にはサポートするという意識があるというのが傾向としてはございます。カタカナを漢字にすると「協力」ですから、５番の方も「サポーター」と同じようなことになりますね。</p>

益山委員	<p>「まちづくり」という言葉も多く入ってくるので、「まちづくりサポーター」というのは、いいと思います。</p> <p>どんなまちにしたいのかという、「協働」という言葉も欲しいですね。なるべく私は意見は言いませんので、特定の方向にみなさまを傾けるといけないので。いかがでしょうか。ご自由に。</p> <p>「協働の」というのを入れるかどうかということですね。「まちづくりサポーター」が基本なので、それに「協働の」というのを意識して敢えて入れるかどうかというところだと思います。</p> <p>私も迷いまして、1番と3番の二つを選択してしまいました。</p> <p>自治基本条例では、協働のまちづくりが基本であると思いますので、やはり「協働」は入らなくても趣旨は変わらないのではとも思い、迷いましたが、「まちづくりサポーター」が分かりやすく良いと思います。</p> <p>「協働」という言葉が、一般市民の立場からすると、「どういうことかな」と思ってしまうので、「まちづくりサポーター」というと、とても身近に感じるなと思います。</p> <p>私も、「協働」という言葉を押し付けるつもりは全くありません。その辺で協議ができるかなと思って発言させていただきました。</p> <p>自治基本条例そのものが協働のまちづくりなんですね。一番最初の精神が「協働のまちづくり」のための条例ですので、その辺も全て入っているのかなと思いますので、私は敢えて「協働」は要らないのではないかなと思いました。そのサポーターだよという意見です。</p> <p>その辺でまとまるのではないのでしょうか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>大差あるわけではないので、いいのではないですか。意見が多いようですから。</p> <p>正式名称は市民参加推進員ですね。ですので、全部ある必要はないかもしれませぬ。「まちづくり」でも十分わかります。では、1票多いということで、それに従い、全員一致で、3番の「まちづくりサポーター」ということで決定したいと思います。</p> <p>それと、キャッチフレーズで、これは、どうしますか。議論しますか。何かご意見等あれば。</p> <p>1番を推したのは私なのですが、先ほどからの議論を聞いていますと、長すぎますね。内容はいいのですが、長すぎますので、3番でいいかなと思っています。</p> <p>よろしいでしょうか。では、3番でいいのでしょうか。これは、「未来」でいいですか。「あした」ですか。</p> <p>「明日」のほうが素直に思います。</p> <p>ではよろしいですね。3番で決定したいと思います。</p>	
車田委員 小林会長		
前田委員		
平井委員		
益山委員		
車田委員		
大豆生田副会長		
車田委員 小林会長 車田委員		
小林会長		
車田委員		
小林会長		
大豆生田副会長 小林会長		
(2) 報告書の作成について		
小林会長		続きまして、議題(2)「報告書の作成について」の資料5-1「報告書の作成について」、資料5-2「報告書(案)」について、事務局よりお願いします。
事務局(須永主事)		<資料5-1、5-2に基づき、報告書の作成について説明>
小林会長		はい。事務局から説明がありましたとおり、「4つの地域が一緒になった」という文言を入れるかどうか。これは非常に大きな問題で、私たちの会議の前に、基本条例自体を作る頃からいろいろな経緯があったということがありますので、普通の自治体で自治基本条例を作ると、久喜が持っていて、合併をして、また新たに作ると。その合併の全体としての項目にも新たに入ってくるとのことになると、我々が提言する場合に、そういうところを踏まえるということになると、それは入れなくてはいけないんじ



益山委員	<p>やないかと思ひ、触れたんですが。「いや、それは要らないよ。」と、現実にもう10年時間が経っているから、そういう点ではもう4つの地区とか言わないで、「久喜市」という現状で捉えるか、そこは難しいところかもしれません。問題点は、まず、追加するかどうか、しないとすれば、話は次に行かなくていいと思うのですが。あとは、この提言書の体裁について、何かご意見があれば。いかがでしょうか。</p>
前田委員	<p>4つの地域が一緒になったという問題点について、10年近く経って、だいたい問題が定着といつてはおかしいが、みなさまの中でこういうことかああいうこととかというのは具体的に感じているところがあるのではないかなと思いますので、これはいつまでも「4つが、4つが」と言っているのはいけないのかもしれないですが、問題点があるのが現実なので、挙げた方がいいのではと思います。</p>
加藤委員	<p>そもそも合併したのが平成22年で、8年半が過ぎたわけですから。当然のことながら、久喜市自治基本条例というのは、その後多面的な審議を行い、一定のプロセスを経て、制定し、施行した。それが平成24年の4月ですから、それから6年半経過しています。この間、普通に考えれば、合併したことのメリットデメリット、効果と課題について言及すべきと考えます。例えば結びのところに、目出しとして触れてもいいのかなと思います。問題意識は持っているよということを入れてもいいのかなと思います。</p>
小林会長 加藤委員	<p>その時に何が問題なのかという認識をどう表現するかということだと思うんですね。もう6年経ったからちゃんとできていないといけないのではないかという考え方と、もうひとつは、まだ6年しか経っていない、4つの地域があつて、それをひとつ久喜市全体としてどうしようかという課題があるというのが分かればいいのではないのでしょうか。ある程度の地域の特性も生かしましょうよというもう一方の要請があると思うんですよ。</p> <p>ですから、そういう課題があるという程度のまとめかなという気がします。10年経ったからもうできてないといけないのではないか、ここおかしいのではないかと、私は言えないと思います。</p>
小林会長 前田委員	<p>他にご意見おありであれば。</p> <p>報告書のスタイルということでひとつお願いしたいのは、参考資料で、会議の開催日、会議の議題、実際に委員会をやってこられたものを足跡として残した方がいいので、参考資料として添付していただけないかと思います。</p> <p>それと、今回の報告書は何のために作るのかといったときに、我々が会議をして何にも成果がないのはどうかということから始まったような気がするんです。とは言っても、提言書をまとめるための会議をしていないので、あくまでもこの会議で出たことを報告しますというスタンスではないかという気がします。</p> <p>そういう意味では、最初のところに、「提言します」という文言は、抵抗があるのと、報告書の内容について突き詰めていないので、その都度議論して内容を詰めていないので、今回はこれまでやった経緯をまとめる報告書でいいのではないかと考えています。</p>
事務局（榎本課長）	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>今までの経過を考えると、そのことを色々言うということではなくて、一言二言、言葉として出したほうがいいのではないかと思います。当然のことながら、合併前は1市3町にばらつきがありました。それが6年半経ってみて、平準化、水準化が着実に進んでいるということは入れてもいいのではないかと思います。</p> <p>ご意見いただきありがとうございます。ひとつは、4つの地域が一緒になったという問題点の関係でいろいろご意見をいただきましたが、そのことについては、例えば1ページにあります「提言します」という文言の前にですね、例えば一例として「地域の特性を踏まえて」とか「地域の特性</p>

	<p>に応じた」というところを加えていきながら、配慮していきながら、全体的に入れられるところに入れていきながら文言整理をしていくと、その辺りの視点が報告書、提言書という形ではありますが、入ってくるのかなと思います。その辺の視点を加えながら、修正を加えていきたいというふうに思っております。</p> <p>もう一点、ご指摘のありました「提言をします」というところについて、資料5-1にありますとおり、この委員会は自治基本条例の運用、普及、見直しに関する事項を市長の諮問に応じて調査・審議するという委員会が基本なんですけれども、ここで何かできるとすれば、今、諮問がない状況なので、第2項にあります市長に必要な提言を行うことができると、この部分をもとにこの報告書の位置付けを持ってこさせていたでいるということがあるので、文言上はどうしても「提言します」というのを入れさせてもらえればと思っております。ただ内容としては、ここで議論した内容の報告的な部分が主になってくると思いますので、ここにプラスしてこの委員会のほうで出された課題というのも結構あると思うんですね。その辺の課題を今後引き継ぐような、検討課題として引き続き検証して欲しいという文言を入れながら、提言という形で整えさせていただければと事務局の方では考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
平井委員	<p>今のお話のように当推進委員会に現在、市長より諮問はありませんので、2項による「市長に必要な提言を行うことができる」が適用になると思います。</p> <p>結びの一番最後に本推進委員会でも、「現時点で提出する本報告書を踏まえ」、「課題解決に向けた取り組みが平行して行なわれていくことを提言します。」と書かれてありますように、今までの推進委員会のまとめとしての報告書を踏まえ、このような課題が考えられますという提言を行う「提言書」で今回は良いのではないかと思います。</p>
小林会長	<p>いかがでしょうか。1ページ目の最後の2つの段落で会議を開催してきて、現状と課題を議論した。その中で出た問題の中から提言をするということですから、そんなにあれじゃないと。もう一つは、報告書というものは出せない。制度上は報告書を出すのであれば、非公式に出すしかないもので、一般市民に対して出して市長に出さないということにはいかないと思います。その辺では仕方がないのかと思います。提言しますとしか書けないのかもしれない。私は、よく事務局で作っているなど。</p> <p>ただ、表紙に「提言書」というのがないんですね。中の文言にある。だから提言なんだというふうに思います。みなさまからすれば、中身がもう少しこういうことが言いたいとか、こういう結論を出した方がいいというものが実はおありかもしれないんです。</p>
大豆生田副会長 事務局（榎本課長）	<p>課題でもいいのですから。</p> <p>この件については、現在進行形の報告書、提言書でもありますので、今後の議論も踏まえて変わっていく部分もあるでしょうし、また取り入れたい部分があればご意見をいただければ反映させていただきたいと思ます。</p>
小林会長	<p>いかがでしょうか。事務局は次回の会議はいつを考えていらっしゃるのですか。</p>
事務局（村田係長） 小林会長	<p>例年は3月の中旬くらいに実施されてきたようです。</p> <p>ちょっとずれてでもいいのではないのでしょうか。任期はいつまでですか。</p>
事務局（村田係長） 小林会長	<p>任期は8月の23日です。</p> <p>それであれば、3月でもいいですし、少しお持ち帰りいただいて、こんな入れたらいいのではとか、今日もこの中に出てくる目玉のひとつ、6ページの市民参加推進員も議論しましたが、こういうのも中身が変わったので、キャッチフレーズもできましたし、そういうのも入れていくとか、子どもの資料もあったりして、読みやすく、わかり易くという、それが成</p>

<p>前田委員</p> <p>事務局（村田係長）</p> <p>小林会長</p> <p>事務局（榎本課長）</p> <p>小林会長</p>	<p>功か失敗かではなくて、そういうところに気配りしてやってくださいよということ書くと。</p> <p>次回、それも配慮したうえで日程を検討していただいて、そこでみなさまのご意見を。8月の任期を過ぎてしまうとよくないので、次に就任した方たちが最初に集まって何をしたかと言って、この提言集を出したと言ったのでは、どこで議論したのか、という話になってしまいますので。この任期中であれば、その辺問題ないと思います。3月はいろいろ大変でいろいろあるんで、4月になってから開催というのもひとつかもしれません。どちらにしても、予算を伴うような議論ではないですので、こういうふうにご考えてくださいという。</p> <p>事務局の立場からすると、年度内の3月中に一回審議会をするというのが一般的ですよ。</p> <p>予算上3回の予算をとってありまして、そう考えると3月中に一度審議会を行うというふうになっております。</p> <p>でも3回でなくても2回でもいいんですよ。これだともう議論にそんなに時間はかからないと思うんですよ。配布して、ご意見求めるのなら、郵送なりファックスなりメールで送ってもらう方法もあります。8月にできないとなるとまたちょっと。どちらにしても開催日程については事務局にお任せします。中には人事異動で逃げようっていう方もいらっしゃるかもしれない、4月になればいいと、経験豊富な方はそういう発想をします。</p> <p>今日ではなくてよろしいですか。それとも今日決めてしまいますか。基本はOKでも、中の文言は、やはりみなさまよく見ると、こういうのをに入れてというのがあると思います。</p> <p>その辺もあるので、文書化して、回答案が出しやすくなるような通知をみなさまにお出しして、こういうところ直してほしいとかご意見をいただいて、それを次回にかけさせていただければと思います。</p> <p>なぜそのようなことを言うかといいますと、キャッチフレーズは決まりましたが、ご欠席の方もいるので、3分の1の方は、資料は見ていますけれど、どうなったか分からないので、作り変えて送って、みなさまのご意見ということで、全員の名前で出すというのが良いのではないかと思います。よろしくをお願いします。</p> <p>議題の方は以上をもちまして終了いたしました。貴重なご意見ありがとうございました。議長の仕事これで解かせていただきます。ありがとうございました。</p>
<p>4 その他</p>	
<p>司会（榎本課長）</p> <p>事務局（村田係長）</p> <p>小林会長</p>	<p>それでは、次第の4その他でございます。事務局のほうからお願いします。</p> <p>閉会后に、フリートークの時間を10分程度設けさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。よろしく願いいたします。</p> <p>はい、わかりました。他には何かありますか。</p> <p>&lt;確認&gt;</p>
<p>5 閉会</p>	
<p>大豆生田副会長</p> <p>司会（榎本課長）</p>	<p>活発な意見交換ができたかと思います。次回に向けて課題も少し残っているようなので、今後ともよろしくお願いします。本日はご苦労さまでした。</p> <p>ありがとうございました。これにて、本日の予定は終了となりますけれども、引き続きフリートークのお時間とさせていただきます。</p>

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。(注)

平成30年12月6日

石井敏夫  
車田貞

(注) 特に署名等を要しない審議会等については、事務局名を記入する。